

おめでとう！2000年成人式



- ◆155名の新しい門出を祝う
- ◆600名の参加者が西暦2000年を祝う
- ◆むらの話題

歩くことで健康の維持を図る 他



村のひと(12月末日)

男	4,900人 (+5)
女	4,719人 (+7)
計	9,619人 (+12)
世帯数	3,293世帯 (+7)

青と緑の豊かな活力ある村

自然とふれあう親と子のつどい「ファミリーキャンプ」参加者募集!

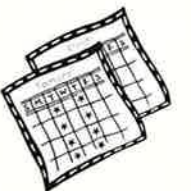


恩納村・県立石川少年自然の家 平成11年度共催事業

1. 趣 旨 親と子がキャンプ生活を通して心の絆を深め、初冬の森で野外活動の楽しさを味わうと共に、自然を愛する豊かな心を育てる。
2. 期 日 平成12年3月11日(土)～12日(日) ※雨天決行
3. 主な活動 「石川岳を観察しながらどんぐりを拾おう」 「夜の森を散策したり、天体望遠鏡で木星や土星を見よう」
「テント生活を通して、自然を肌で感じよう」 「キャンプファイヤーの火を囲み、家族の絆を深めよう」
「家族で野外炊飯によるカレーづくりに挑戦しよう」
4. 場 所 沖縄県立石川少年自然の家
5. 参加対象 小学生以上親子及び子ども会
(引率1名に子ども4人程度が適当)
定員80名
6. 参加費 1人当たり 1,700円(当日徴収)
7. 参加申込 平成12年2月25日(金)～3月9日(木)
※但し、定員に達し次第締め切る。
電話又はFAXで直接村教育委員会に申し込んで下さい。
☎ 966-8506
FAX 966-8478
8. その他 持ち物や服装等の詳しい事は、村教育委員会にお問合せ下さい。



恩納村青年教室(パソコン講座)受講者募集!



1. 事業名 恩納村青年教室(初心者向けパソコン講座)
2. 事業のねらい 生涯学習の一環とし青年教室(初心者向けパソコン教室)を開設することにより、情報化に伴うパソコン利用拡大に対応するパソコンの基本操作を身につけるとともに情報社会の現状を理解する学社融合による講座。
3. 事業実施主体 恩納村教育委員会 社会教育課
4. 参加対象・定員 村内在住の青年 20名
5. 学習期間・時間帯 平成12年2月22日(火)～3月23日(木)
週2回(火曜日、木曜日)
6. 学習期間 2時間×10回=20時間
7. 学習場所 恩納村小中学校パソコン教室
8. 受講申込先 受講者は、恩納村教育委員会へ電話で申し込み下さい。
恩納村教育委員会 社会教育課 ☎966-8506
(2月17日までに申し込み下さい。)
9. 受講料 無料(但し、テキストについては受講者負担です。)





155名の新しい

門出を祝う



▲新成人によるカラオケも祝賀会で披露



▲成人を迎えたことを職場に報告

おめでとう



▲村長と一緒に記念撮影



▲祝賀会は青年団で進行



▲2000年成人式おめでとう！ これからの活躍に期待！

平成十二年恩納村成人式

郷土の担い手としての新成人の門出を村民を挙げて祝おうと一月四日、平成十二年恩納村成人式が村コミュニティセンターで開催され、百五十五名の新成人のうち約百二十名が来賓や家族等に見守られ、成人式に参加しました。

式典で大城村長からは、「この村に生まれ育ったことを誇りにし村民としての自覚と村の発展のためにご尽力下さることを期待しております。」と式辞が述べられ、議長、青年協議会長からも新成人に祝辞が述べられました。



▲村を挙げて新成人を祝う

新成人を代表して仲泊校区の比嘉新さんと伊波美香さんは、「今日のこの感激を胸に成人としての自覚を新たに、大人社会の一員として全力を尽くします。」と成人への誓いを述べられました。

式典終了後、新成人記念品として送付する記念写真の撮影も行なわれ成長した娘や息子の暗れ姿を写真に残そうとシャッターを切る家族等の姿も所々で目に入りました。その後村青年団の司会で進められた祝賀会では、カラオケやビンゴゲームを楽しみながら、久方ぶりの級友との再開を喜び合う光景も多く見られ、新成人を迎えた喜びを体いっぱい表現していました。



▲比嘉さんと伊波さんによる成人への誓い

平成12年度 新成人該当者内訳

平成11年12月13日現在

No	自治会名	男子	女子	計
1	名 嘉 真	9	4	13
2	喜 瀬 武 原	7	2	9
3	安 富 祖	7	5	12
4	瀬 良 垣	2	4	6
5	太 田	3	1	4
6	恩 納	8	10	18
7	南 恩 納	11	8	19
8	谷 茶	1	1	2
9	富 着	2	3	5
10	前 兼 久	6	4	10
11	仲 泊	10	11	21
12	山 田	7	6	13
13	真 栄 田	1	6	7
14	塩 屋	5	3	8
15	宇 加 地	2	3	5
16	恩納分屯基地	3	0	3
	計	84	71	155

平成十二年県内で成人式を迎える新成人は、一万八千七百二十名余で昨年度より、二百二十名余増えており、恩納村では、今年の対象者が百五十五で昨年の百四十二名から十三名増えていきます。

村では、進学や就職で県外に在住している新成人の正月帰省に合わせて毎年一月四日に成人式を開催しています。

今年の成人式での村内の対象は昭和五十四年四月二日から昭和五十五年四月一日生まれ皆さんの百五十五名が対象となりました。



▲今後のご活躍を期待します

美しい恩納村をアピールするために



▲開会式には各区や事業所から多く皆さんが参加

今年七月に開催される九州・沖縄サミットで沖縄を訪問する各国の首脳や代表、そしてプレス関係者に美しい恩納村をアピールするため、村、各区、事業所合同のクリーンアップ事業が一月二十三日、村一円で開催され多くの村民らが美化活動に参加しました。

村コミュニティ広場で開かれた出発式には、各区や事業所の代表らが多く参加し、主催者を代表して、サミット推進村民会議会長の大城村長は、「日頃からの皆様の環境美化活動への協力に感謝しております。今後サミット成功に向け皆様のご理解とご協力をお願いします。」とあいさつ、出発式終了後、それぞれ割り当てられた清掃区域に移動し作業が行なわれました。

作業では、国道沿いや海浜の空き缶やゴミの収集作業を午前中いっぱいかけて行い、集められたゴミは村建設業者が協力して回収しました。



サミット推進村民会議では、今後も村民らに呼び掛けて環境美化活動を実施し、継続的にキャンペーンすることで本村の美しさを世界へ発信しようと考えています。

九州・沖縄サミット恩納村推進村民会議 環境美化部会 クリーンアップ事業

クリーン作業には多くの方々が協力してくれました。ありがとうございます。

平成12年恩納村新年祝賀会

六〇〇名余の参加者が 西暦二〇〇〇年を祝う



▲村のますますの発展を願い鏡びらき



▲2000年のスタートを参加者と共に喜ぶ村長

西暦二〇〇〇年を迎え村民並びに関係事業所と共に新年を祝おうと、平成十二年新年祝賀会が一月五日、村コミュニティセンターで六〇〇名余が出席して開催されました。

祝賀会は、仲嶺眞二村商工会長の開会のあいさつではじまり、出席者全員で村歌斉唱し、村文化協会（喜納福常会長）の会員による古典音楽斉唱で舞台の幕開けが行われ、引き続き村役場女子職員によるかぎやで

風も会場に華を添えました。

主催者を代表して大城村長からは、「二十年の節目の年のスタートを皆様と共に祝うことができるとも嬉しい、今年は九州・沖縄サミットも開催されます。成功に向け皆様のより一層の協力をお願いします。」とあいさつがありました。その後村長並び主催団体の代表と祝賀会に参加していた比嘉茂政県出納長も参加して鏡びらきも行われました。

会場では、村長に一言新年あいさつをしようと事業所の関係者の列ができる場面も会場で見られました。また、祝賀会では、村並びに村民そして関係事業所のますますの発展と今年七月に開催されるサミット成功を願い、村漁業組合の金城重治組合長の方歳三唱も行われました。



▲新春祝う舞踊の披露



▲村の発展とサミット成功を願い万歳三唱



▲文化協会による文典音楽斉唱

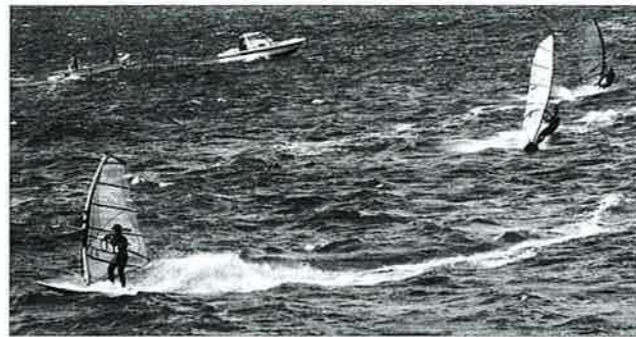
OKINAMA CUP IN ONNA

All Japan Pro-Am Windsurfing Events



▲27日ムーンビーチで行われた開会式

ボードセイリングのグランプリシリーズ最終戦となるオキナワカップインオンナの第五回ポートセイリング大会が、一月二十七日から三十日までの四日間ムーンビーチで開催され、プロ・アマが出場してスピードを競うレーシングとパフォマンスを競うフリースタイルで競技が行なわれました。二十七日に行なわれた開会式では、主催者を代表して同実行委員会委員長の金城村長は、「恩納村の美しい海で日頃鍛えた技を發揮して優勝を目指して下さい。」と出場選手を激励しました。



▲強風のなか競技が進行（27日）

大会初日に行なわれたフリースタイルでは、所定の時間内でアクロバティックの演技がどれだけ披露できるかが競われ、審査員の採点で勝敗が決まり、強い北風のなか選手は風と波と一体になりポートセイリングを体いっぱい楽しんでいました。大会の会場となったムーンビーチの砂浜には選手が持ち込んだウインドサーフィンの道具でうめつくされ、風や波の状況を見ながら選手は競技に参加していました。

金武地区消防衛生組合 平成12年出初式

2000年九州・沖縄サミットでの活躍に期待



▲出発式には消防職員と団員が参加（写真は団員）

式典では、同消防の副管理者である大城英喜村長から「二〇〇〇年沖縄サミットでは、各国首脳が宿泊地として恩納村に滞在し、消防関係者の活躍に期待します。」と開会のあいさつがありました。

恩納、金武、宜野座の一町二村で構成する金武地区消防本部（仲間繁消防長）の出初め式が一月六日、金武町の同本部で関係者多数出席し行われ、消防職員・団員による訓練礼式や消防車等を使用した消火活動の展示訓練も行われました。



▲一斉放水も実施

消防職員・団員による訓練礼式では、関係者に訓練のこれまでの成果を披露。また、ビル火災を想定した展示訓練も梯子消防車等を使用して救助や一斉放水も行われ、本番さながらの訓練に出初め式を見学に訪れていた各保育園の園児で組織する幼年消防クラブの子ども達は訓練の様子を真剣に見つめていました。その他、出初め式では幼年消防クラブの園児らの演技等も行われ防火を呼び掛けました。仲間消防長からは、消防の重要性を認識し、今後も隊員・団員一丸となって使命達成に向け努力していきますと答辞が述べられました。

乾燥にご注意！



こんにちは保健婦・保健士です！

近頃気温の変化が大きく、体調を崩している方が増えていますが、みなさんはお元気ですか？この季節はカゼをひきやすい季節で、インフルエンザも流行していますので、是非注意したいものです！

ところで、寒い日々が続くため、ヒーターやストーブを焚いて暖をとっている方も多いと思いますが、その時、お部屋の中は「カラカラ」に乾燥してませんか？実は、この「カラカラ」と乾いた空気があなたに「カゼ」をもたらすことがあるのです。

私達はいろんな方法で悪いウィルスや細菌が体に入らないように防御します。その一つの「ゲート」が喉です。喉の中には「ピン毛」と言って、「悪いヤツ」を体の奥底に入れないように見張っている「体の警察」がいるのです。が、空気が乾燥してしまうと、この「ピン毛」は弱ってしまい、「悪いヤツ」が簡単に喉を通り抜けて、体の中に入り、悪さを起こし、カゼなどの病気を引き起こしてしまうのです。

では、どうやって「体の警察」の強さを保つか。一つは部屋内の空気を乾燥させないことです。ストーブなどを使用している時は、できるだけ空気を乾燥させないようお湯を沸かしたり、時々窓を開け外の空気を入れたりして下さい。また、夜、眠るときに、首にスカーフや薄手のタオルを巻いて寝ることによって、首そして喉の保温となります。「体の警察」の乾燥を防ぐことによって、随時「悪いヤツ」の進入を見張ってもらいましょう！もちろん、「体の警察」を応援する意味で、帰宅後の手洗いとうがいも忘れずに！



交通事故多発に伴う緊急交通安全講習会開かれる

石川警察署並びに石川地区交通安全協会の共催で年末から新年にかけて多発傾向にある交通事故防止を図ろうと、名嘉真老人会を対象に交通安全講習会が1月23日に同区公民館で緊急に開催され、60名余の会員が出席して悲惨な交通事故の加害者も被害者も出さないよう共に考えました。



チャイルドシートの使用義務化について

平成12年4月1日から、自動車の運転者はチャイルドシートを使用しない6歳未満の幼児を同乗させてはならないこととされ、違反者には基礎点数1点が付されることとなります。

交通事故が多発しています。

県内で平成11年末から平成12年にかけて交通事故が多発しております。

年末には2件発生し2名の高齢者が亡くなっております。

新年に入ってから、1月16日現在5件発生し中学生や幼児を含めた若者の方が亡くなっております。恩納村においても1月に入ってから高齢者が亡くなっております。

年末からの6件の事故で、3件は飲酒の疑いがあり、スピードの出し過ぎなど無謀な運転による事故が特徴となっております。

運転者の皆さん、スピードは控えめに、車間距離はゆとりを持って、安全第一の運転を心がけましょう。

歩行者の皆さん、道路を横断するときには左・右の確認を徹底し、横断歩道を利用しましょう。

恩納村交通安全推進協議会



▲参加者は思い思いのペースで参加

歩くことで健康の保持と増進を図る
新春歩け歩こう大会

運動不足の解消と参加者同志の親睦を図ることを目的に村教育委員会が主催して、新春歩け歩こう大会が一月十六日、県民の森で開催されました。県民の森管理事務所前で行なわれた開会式にはあいにくの天候にもかかわらず三十名余の参加者が集まり、主催者からは約十キロコースになりますが、自分自身のペースで無理せず最後までがんばって下さいと激励のあいさつがありました。開会式終了後、村体育指導委員の先導で悪天候で少しコース変更があったものの、県民の森から喜瀬武原を通過し、名嘉真から県民の森に戻る約十キロコースを約二時間程度かけて参加者同志会話しながら楽しく歩きました。参加者は、小学生から六十代の幅広い年齢層が参加し、中には定期的に村内を歩きながら健康づくりを図っているメンバーも県民の森を中心としたコースに思い思いのペースで挑戦しました。



▲出発前に参加全員で記念撮影

地域産物を生かして育てよう特産品
平成十一年度ふれあい展示会

農山漁村地域の良さを生かした活力ある明るい村づくりを目標に掲げ、日頃からグループ活動に取り組んでいる村農山漁村生活研究会(当山君子会長)主催によるさわかふれあい展示会が一月二十六日、村婦人の家で開催されました。今回の展示会は、『好きです地域産品』をテーマに、特産品をキャッチフレーズに地域産物を生かした沖縄型食生活の実践として、「いも」を素材にした生活研究会の会員がそれぞれ思考をこらして調理した料理等が展示されました。会場内には、それぞれのグループで考案したいもを使った料理等が約三十品展示され、それぞれ料理の前には作り方や、試食コーナーもあり、地域産物を使った品々が会場に訪れた来場者にふるまわれました。「いも」にもビタミン類が豊富で食物繊維も含まれることから大腸ガンの予防にもなると言われており、生活研究会では、今後「一日一本いもを食べる運動」につなげようと願って実施されました。会場内には、それぞれのグループで考案したいもを使った料理等が約三十品展示され、それぞれ料理の前には作り方や、試食コーナーもあり、地域産物を使った品々が会場に訪れた来場者にふるまわれました。



▲会場にはイモを素材にした料理がずらり



▲カービングも会場で実演

第6回山芋スープは伊波榮昌さんが一位
塩屋山芋王国

塩屋山芋王国恒例の山芋スープ(収穫競争)が十二月十九日、塩屋公民館広場で塩屋区山芋国王のもと開催されました。スープの結果、一位に伊波榮昌さん、二位に宮平健一さん、三位に新垣盛正さんが輝きました。今回は、同日に開催された第一回全沖縄やまいも勝負イン石川にも参加し、カーギ勝負の部で与古田善孝さんがカーギ有効賞を見事受賞しました。組合員は、活躍する場も増えて視野も広がり、作る喜びも高まりました。

たと第一回全沖縄やまいも勝負を喜んでいます。塩屋山芋王国では、十二月二十五日から二十六日にかけて開催された第二回村産業まつりでも自慢の山芋で出店し、収穫の成果をまつり来場者にも披露しました。なお、山芋スープ入賞者の成績は次のとおり。

- 一位 伊波榮昌(五十一キロ)
- 二位 宮平健一(三十キロ)
- 三位 新垣盛正(二十九キロ)



▲公民館前には山芋がいっぱい



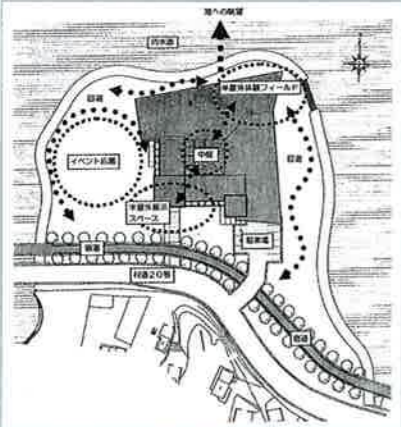
▲第2回産業まつりにも出店



▲開館が楽しみな博物館の現場

村博物館新築工事現場で棟上げ

昨年の九月二日に仲泊内海埋立地で起工式が行なわれた、恩納村博物館新築工事の棟上げが、一月十九日に同建設工事現場で行なわれ、村並びに施工業者共に完成までの建設工事の安全を祈願しました。博物館は、今年度内で建物の建設工事を終え、次年度から博物館内部の展示作業に入り、平成十三年度に開館を予定しています。仲泊内海周辺では、村博物館新築工事の他、平成七年六月に建設省道路局長より歴史国道と選定されその整備も合わせて進められています。



▲完成予想図

ふるさと発見 伊能忠敬道中地図コンテスト

平成11年度から約2年間かけて日本全国を「一筆書き」で歩いている「伊能ウォーク」のコース添いの楽しい地図、絵地図を募集します。優秀作は沿線マップとして参加者らに配布します。

◆原稿「伊能ウォーク」コース1日分を手書き、パソコンなどで1枚の地図に、最大A2サイズ（印刷はA3サイズ）。締め切りは、平成12年5月15日。

◆問い合わせ・申し込み
日本地図センター内「ふるさと発見伊能忠敬道中地図コンテスト事務局」(03-3485-6615又は6619)

◆主催 ふるさと発見伊能忠敬道中地図コンテスト実行委員会

◆後援 建設省国土地理院、文部省、県教育委員会、朝日新聞社ほか

「平成の伊能忠敬・ニッポンを歩こう！」

恩納村通過は、平成12年8月26日(土)を予定しております。

大琉球ミュージカル映画

ナビィの恋

恩納村上演が決定!! 平成12年3月11日(土)
恩納村コミュニティセンター(大ホール)

昨年11月の上映開始により、51,000人の観客を集め、2月にはベルリン国際映画祭への出品も決定し、稲嶺県知事や小淵総理が鑑賞するなど沖縄映画の枠を越えた社会現象にもなっております。

前売	大	1,200円	学	1,000円
当日	大	1,400円	学	1,200円
	シルバー	1,300円	子ども(小中)	800円

現段階で前売券取り扱い場所として、コープおきなわ、チケットぴあ(ファミリーマート各店)が決定しております。

●●●● 問い合わせ先 ●●●●
「ナビィの恋」上映委員会
TEL 867-3955

春の火災予防運動 3月1日～3月7日

『あぶないよ ひとりぼっちに したその火』

火災の発生しやすい時期になりました。私たちの町や村から火災をなくするために次の7つのポイントに気をつけましょう。

1. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
2. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
3. 天ぶらを揚げるときは、その場を離れない。
4. 風の強いときは、たき火をしない。
5. 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
6. 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
7. ストープには、燃えやすいものを近づけない。

金武地区消防本部

交通遺児等への育成資金の貸付のご案内

自動車事故によって、働き手が亡くなったり、又は重度の後遺障害が残ったりしたために生活にお困りの家庭は遺児等の健全な育成を図るため、当センターでは、遺児等を対象に次により育成資金の貸付けを行っております。

*貸付対象者＝自動車事故により死亡又は重度の後遺障害の残った方の子
(0才から中学校卒業までの者)

*貸付金額＝一時金(1人につき最初だけ)15万5千円
以後月額2万円
入学支度金(小・中学校入学時)4万4千円

*貸付期間＝貸付決定時から中学卒業まで。

*返還期間＝中学校卒業後20年以内の均等分割返還。
(高校・大学等への進学者は、卒業まで返還開始を猶予)

※申込・お問合せについては

自動車事故対策センター沖縄支所
那覇市前島2丁目21番13号(ふそうビル6階)
電話(098)862-8667

恩給・共済年金担保貸付のご案内

国民生活金融公庫と沖縄振興開発金融公庫では、恩給や共済年金などの受給者に対し、その受給者に対し、その受給権を担保として低利で融資する「恩給・共済年金担保貸付」を行っております。融資額は次のとおりです。

- 利用できる方
恩給、共済年金、災害補償年金などを受けている方
- 融資額
250万円以内(ただし恩給や年金の年額の3年分以内)
- 利率
年2.0%の固定金利(平成11年12月9日現在)
- 資金の使いみち
住宅、教育、レジャーなどの消費資金や事業資金
- 返済方法
受給者に支給される恩給や年金を公庫が代わりに受け取り、返済にあてます。なお、利用中に改めて資金が必要になったときは、融資の限度額以内であれば追加の申し込みもできます。
- 担保・保証人
融資にあたっては、恩給や共済年金の証書を公庫へ預けるほか、連帯保証人が1名以上必要です。
- 申し込みの際必要なもの
①借入申込書、②恩給や共済年金の証書、③支給状態の証明書(総務庁恩給局や各共済組合などが発行するもの)
- 申し込みから融資まで
原則、申し込みがあった日に審査がありますので順調に手続きが進めば申し込みから融資まで5日前後です。詳しいことは、沖縄振興開発金融公庫までお問合せください。
☎ 098-867-6618

!!! 老齢基礎年金の繰上げ受給にご注意!!!

私達の老後生活の柱である国民年金のうち基礎年金は月額67,017円ですがこれはあくまでも満額の年金額です。つまり、所定の月数の保険料を納め、65歳になってから受給を開始した場合の金額です。それ以外の場合には年金額が変わってきます。

したがって、実際には受給者は様々な金額の年金を受け取っていますが、その平均受給月額が年々増加し、平成9年度の老齢年金平均は47,058円となっています。そのうち新規裁定者の場合は、55,057円です。満額の老齢基礎年金は当時65,458円でしたので、相当な人が低い金額になっています。保険料を納めた月数が不足しているとの理由もあるでしょうが、もう一つの理由があります。

繰上げ受給制度を選択した人が多いのも理由なのです。老齢基礎年金の受給が始まる年齢は65歳です。しかし、繰上げ受給制度では、希望者は、60歳から64歳までの間に繰上げて受給することが可能です。ただし、普通より早く年金を受けることになるのでから年金を受給する年齢によって、それが早ければそれだけ年金額が減額されます。例えば(図1参照)60歳で受給を開始すれば、65歳で受給する場合に比べて42%減額されます。老齢基礎年金は、繰上げ受給を希望すると年金額が減額され、減額の割合は生涯変わることがありませんし、そのほかにも、次のような注意すべきことがあります。

従って繰上げ受給を請求しようとする方は、これらの点を十分に考えてみてください。

- ※ 繰上げ請求した後に障害が生じて、障害基礎年金は支給されません。
- ※ 寡婦年金は、繰上げ請求をすると受給できません。
- ※ 繰上げ請求すると国民年金の高齢任意加入はできなくなります。

図1

繰上げ請求年齢	減額される率	11年度の老齢基礎年金額(満額)
60歳	42%	804,200円
61歳	35%	
62歳	28%	
63歳	20%	
64歳	11%	

国民年金のお問い合わせ 役場年金係まで!
☎ 966-8001

“生徒募集” 泊高校通信制課程

泊高校通信制課程(泊通信)では、平成12(2000)年度の生徒募集を行いません。

泊通信は、事情があり高校に進学できなかった、中途退学で高校を卒業していない、仕事の都合で毎日の登校ができないなど、高校に通うことを希望しながらできないでいる方々のための学校です。毎週日曜日(または月曜日)の授業(スクーリング)受け、課題(レポート)を提出して単位を取得していきます。

今年度の募集要項を1月中旬から配布していますので、ご希望の方は本校までお問合せ下さい。受付は下記の日程で行ないます。

■受付期間：平成12年(2000年)
2月18日(金)～25日(金) 必着
■お問合せ：098-868-1237(泊高校)

輸血によるHIV感染予防に係る検査の実施について

昨年未本土において輸血によるHIV感染事例が発生したため、県では県民の不安を解消するため、下記の方を対象に無料でHIV抗体検査を各機関にて行うことになりました。

対象：平成11年7月31日以前に輸血を受けた者で抗体検査を希望する者
実施機関：各保健所・県立中部病院・琉球大学付属病院
実施期間：平成12年3月31日まで
費用：無料

お問い合わせ：965-1011
石川保健所保健増進課

平成11年度分の所得税の確定申告について

- 確定申告書は、自分で正しく書いてお早めに郵送か窓口提出をお願いします。
- ご自分で申告書をかかれた場合、①納税相談又は窓口での提出の場合には、待ち時間や相談時間が少なく済みます。また、②郵送による提出の場合には、税務署に行く必要がなくなります。
- 申告と納税は2月16日(水)から3月15日(水)までですが、期限間に申告書を提出されたと、申告内容に誤りがあった場合に期限内に訂正することが難しくなりますので早めに済ませましょう。
- 期限までに申告されなかったり誤った申告をされると、加算税や延滞金など余分な税金を納めることになる場合もありますのでご注意ください。